

## 水と命

水には様々な用途があります。例えば風呂や洗濯、炊事などがあります。あなたは水と聞くようなイメージを持ちますか？私は透明できれいな水を思いうかべます。ですがそのイメージは人によって違います。例えば国によっても違います。私たちのように日本に住んでいる人は、きれいな水を思いうかべる人は多いと思います。なぜならば、日本の水道普及率は現在でも約九十八パーセントで世界最高水準です。一般的な住宅街はほぼ百パーセント水道設備が通っています。また、水の品質も非常に高いため、安心して水道水を飲めると思います。反対にサハラ以南のアフリカ諸国などでは、安心して飲める水が身近になく、池や川、湖、整備されていない井戸から水を汲んでいます。そのため毎日八百人も子どもが、不衛生な環境が原因で命を

山添村立山添中学校 三年

岡田 柚沙

落としていきます。そのくらい、水は命や生活に関わりが深く大切なものだと思います。水分は人間が生きていくためには絶対にならなくてはいけません。私たちが毎日口にする飲み物や食べ物には、たくさんのお水が使われています。人間は、水と睡眠さえしっかりとつければ、たとえ食べ物がないとしても二、三週間は生きることができそうです。ですがその水が汚れた安全でない水の場合、どうなるのでしょうか？アフリカ諸国の子どもたちの多くは、その汚れた水を飲み、肺炎などさまざまな病気に感染しやすくなり、命を落とす人が多くいます。子どもたちの多くは、池や川などの飲用に適さない水源に頼るしかありません。しかもその水の多くが、泥や細菌などが混じった危険な水です。そんな水を浄水処理しないまま飲むと、抵抗力の弱い子どもたち

は下痢を起こしたり、病気になってしまします。その水が原因で命を落とす子どもは年間三十万人にもものぼっているとのことですが、その水の問題とともに子どもたちは一日中、生活をするための水を汲みに行かなければなりません。朝早くから、夜遅くまで水の重さに耐えながら、毎日遠い道のりを歩き続けています。そのせいで、子どもたちは学校にも行けないため、水問題は子どもたちの未来までうばってしまいうことにつながっていると 생각합니다。

私たちは毎日、きれいな水を使って生活をしていきます。それによって私たちは元気に学校に行くことができます。この日本という国は、とても豊かな国だと思いません。でも、それが他の国では当たり前ではないと思うと、水は大切に使っていきたいです。

日本が水に恵まれている理由は、ダムなどの貯水や水道管などのインフラ整備が進んでいる、全国各地で適度に雨が降るからです。日本は山が多く、ダムを建設しやすいです。また、台風は大きな災害をもたらすこともありますが、ダムの水が一気に増やせるという

メリットがあります。そのため、降水量や地形、インフラ技術において、日本は他の国に比べ強い国だと評価できます。

水に関して豊かな日本である以上、私たちにもできることがあると思います。日常で簡単に実行できることといえば、歯みがきのときの水を止めることです。蛇口から出る水を三十秒間出しっぱなしにすると、約六リットルもの水を使うため、まずは身近なところから水を節約し無駄遣いをしないように心がけようと思います。

世界の水問題は他人事ではなく、私たちに責任があることです。だからこそ、国や個人でできることから取り組み、日頃から水に感謝をし、水を大切にしたいです。